

理科 B 第2学年 年間指導・評価計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

月	単 元 名 (教材名) (配当時数)	学 習 活 動 ・ 内 容	評価の主な観点			評 価 の 観 点 規 準	評価のための判断材料
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力		
4月	第1章 (3年教科書) 生物の成長(4) 1 生物の成長のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな細胞の観察から、生物のからだは細胞からできている事及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。 ・体細胞分裂の観察を行い、その過程を確かめるとともに、細胞の分裂を生物の成長と関連づけてとらえる。 	○	○	○	1. 体細胞分裂の観察から生物の成長は、細胞の分裂・成長によって起こる事を考察できる。 2. いろいろな分裂像を染色体などのようすにもとづいて、細胞分裂過程の順序を筋道を立てて考え、整理して表現することができる。 3. 生物の成長は、細胞分裂によって数が増え、もとの大きさに戻ることであることを理解し、体細胞分裂についての知識を身につけている。	発言、レポート、観察、試験
5月	第2章 (3年教科書) 生物のふえ方と遺伝(6) 1 子孫の残し方 2 親の特徴の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物のふえ方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだす。 ・有性生殖では、形質の伝わり方は、両親から染色体にある遺伝子を通して行われることを理解する。 	○	○	○	1. 花粉管が伸長する現象を、精細胞が卵細胞と合体する受精のしくみと関連づけができる。 2. 花粉管の伸長していく経時的变化を、温室で培養しながら顕微鏡で観察する方法を身につけるとともに、変化のようすをスケッチなどで記録することができる。 3. 有性生殖の特徴である受精について理解し知識を身につけている。 4. 受精卵は分裂を繰り返して胚になることを理解し、知識を身につけている。	発言、レポート、観察、試験
6月	自然と人間(8)(3年教科書) 第1章 自然界のつり合い 1 生物のどうしのつながり 2 落ち葉のゆくえ 3 物質の移動	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物のはたらきや自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、総合的に見たり考えたりすることができるようにする。 ・植物や動物を栄養摂取面から交互に関連づけてとらえる。 	○	○	○	1. 生物が自然の中で食べる・食べられるという関係の中で生活していることに関心をもち、いろいろな資料をもとにそれらの関係を調べようとする。 2. 生物は食物連鎖によって網目状につながっていることを見いだすとともに、食物連鎖の上位のものほど個体数が少ないなど、量的な関係についても考察することができる。 3. 自然界では、生物は食べる・食べられる関係の中で生活していることを理解し、消費者、生産者などについての知識を身につけている。	発言、実験、試験

7月	第2章 人間と環境(6) 1 自然環境と人間 2 自然環境に与えた影響	・学校周辺の身近な自然環境について調べ自然環境を保全することの重要性を認識する。 ・自然環境は自然のつり合いによって成り立っていることを理解する。	○	○	○	1. 学校周辺の環境に関心を持ち、いろいろな視点から探究しようとする。 2. 人間生活と自然環境とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	発言、実験、レポート、試験
9月 10月	第3章 自然と人間のかかわり (6) 1 住んでいる場所 2 火山と地震のかかわり 3 天気とのかかわり	・自然がもたらす災害について調べ、これらを多面的・総合的にとらえ自然と人間のかかわり方について考察する。 ・過去に起こったさまざまな災害について調べる。 ・火山、地震、天気との関わり方について調べる。	○	○	○	1. 自然災害について関心を持ち、地域でのいろいろな災害について調査してみる。 2. いろいろな方法によって、過去に起こった災害について調査し、まとめる事ができる。 3. 火山、地震、天気とのかかわりをまとめることができる。	発言、実験、レポート、試験
11月	第4章 科学技術と人間(6) 1 科学技術の発展	・科学技術がもたらす恩恵について調べ、これらを多面的・総合的にとらえ自然と人間のかかわり方について考察する。	○	○	○	1. 科学技術がもたらす恩恵について関心を持ち、いろいろな資料をもとに調査してみようとする。	発言、レポート、試験

12月	第4章 科学技術と人間(3) 2 科学技術の恩恵	・科学技術がもたらす恩恵について調べ、これらを多面的・総合的にとらえ自然と人間のかかわり方について考察する。	○	○	○	1. 地球環境の維持に関心を持つ。 2. 地球環境に影響を及ぼすことがらを考えるられる。 3. 地球環境維持のための知識を持ち、実践できる。	発言、試験
1月	第4章 科学技術と人間(6) 2 科学技術の恩恵	・科学技術がもたらす恩恵について調べ、これらを多面的・総合的にとらえ自然と人間のかかわり方について考察する。	○	○	○	1. 科学技術がもたらす恩恵について関心を持ち、いろいろな資料をもとに調査してみようとする。	発言・授業プリント・試験・問題プリント・試験
2月 3月	第5章 科学技術の利用と環境保全 1 科学技術の利用かけがえのない地球のために(3)	地球環境をより良く、長く保つために行なっていくべきことを知る。	○	○	○	1. 地球環境の維持に関心を持つ。 2. 地球環境に影響を及ぼすことがらを考えるられる。 3. 地球環境維持のための知識を持ち、実践できる。	発言・観察レポート・試験